

令和元年度 決算説明資料 (第14期)

公立大学法人
名古屋市立大学





令和元年度決算の概要

(単位:百万円)

区 分	H30年度	R1年度	増減	前年度比
経常費用	40,712	41,932	1,220	103.0%
業務費	40,010	41,113	1,103	102.8%
教育研究経費	2,704	2,762	58	102.1%
診療経費	16,877	17,835	958	105.7%
受託研究費等	1,454	1,309	△ 145	90.0%
人件費	18,975	19,205	230	101.2%
一般管理費等	701	818	117	116.7%
経常収益	40,618	41,874	1,256	103.1%
運営費交付金収益	6,818	6,544	△ 274	96.0%
学生納付金収益	2,695	2,662	△ 33	98.8%
附属病院収益	27,829	29,371	1,542	105.5%
受託研究等収益等	1,508	1,339	△ 169	88.8%
寄附金・補助金等収益	737	802	65	108.8%
研究関連収入	228	312	84	136.8%
その他	800	841	41	105.1%
経常損益	△ 93	△ 58	35	-
臨時損益	6	△ 12	△ 18	-
目的積立金取崩額	0	8	8	-
当期総損益	△ 87	△ 62	25	-

【ポイント】

- 総損益は62百万円のマイナスで、前年度決算より25百万円の増
中期計画での令和元年度損益△444百万円から大きく改善
- (経常費用)
- 診療経費は医薬品費の増等により、958百万円の増
- 受託研究費等は受託研究費の執行減等により、145百万円の減
- 人件費は定員増及び欠員補充による給与、賞与の増等により230百万円の増
- (経常収益)
- 運営費交付金は退職手当の執行減等により274百万円の減
- 附属病院収益は手術件数の増、外来化学療法室の利用者の増等により1,542百万円の増
- 受託研究等収益等は受託研究費の執行減等により169百万円の減
- 研究関連収入は科学研究費補助金の獲得増により84百万円の増

(注) 計数については、それぞれ切捨て表示しているため、合計と合致しないものがある。以下各表について同じ。



令和元年度決算（大学）

（単位：百万円）

区 分	H30年度	R1年度	増減	前年度比
経常費用	10,943	10,871	△ 72	99.3%
業務費	10,438	10,276	△ 162	98.4%
教育研究経費	2,570	2,639	69	102.7%
受託研究費等	1,215	1,064	△ 151	87.6%
人件費	6,652	6,572	△ 80	98.8%
一般管理費等	504	594	90	117.9%
経常収益	11,211	11,067	△ 144	98.7%
運営費交付金収益	5,882	5,791	△ 91	98.5%
学生納付金収益	2,695	2,662	△ 33	98.8%
受託研究等収益等	1,273	1,079	△ 194	84.8%
寄附金・補助金等収益	622	671	49	107.9%
研究関連収入	228	312	84	136.8%
その他	508	549	41	108.1%
経常損益	268	196	△ 72	73.1%

【ポイント】

○経常損益は196百万円のプラスで、前年度決算より72百万円の減

（経常費用）

○教育研究経費はインターネット出願システムの導入や高等教育修学支援新制度による奨学金の増、進化型実務家教員養成プログラムの支出等により69百万円の増

○受託研究費等は芸術工学研究科の受託研究費の執行減等により151百万円の減

○人件費は退職手当の執行減等により80百万円の減

（経常収益）

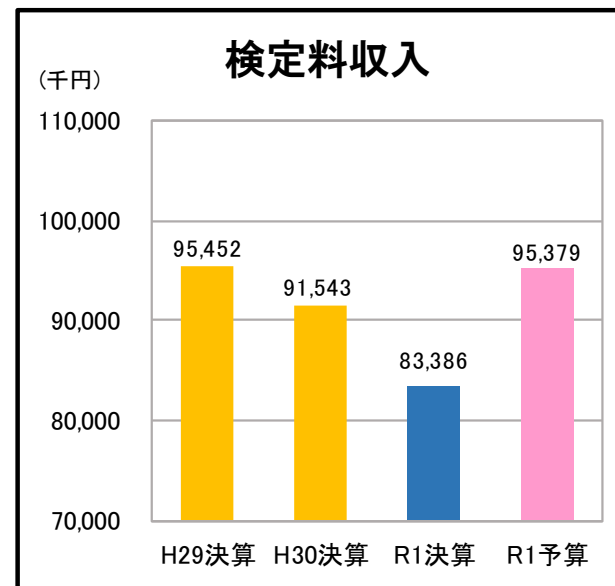
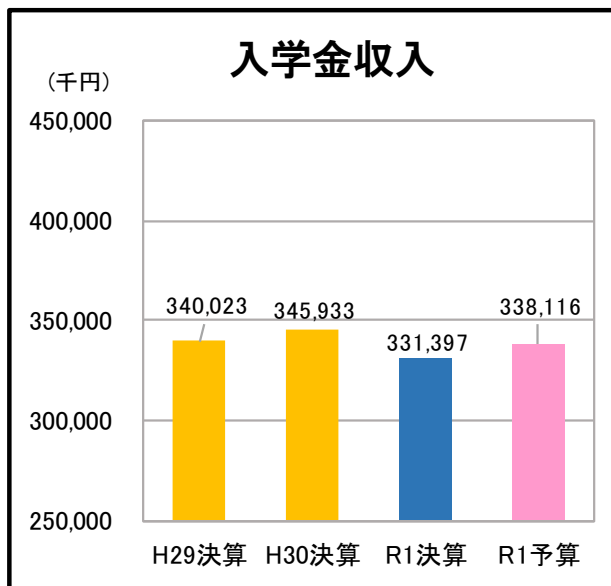
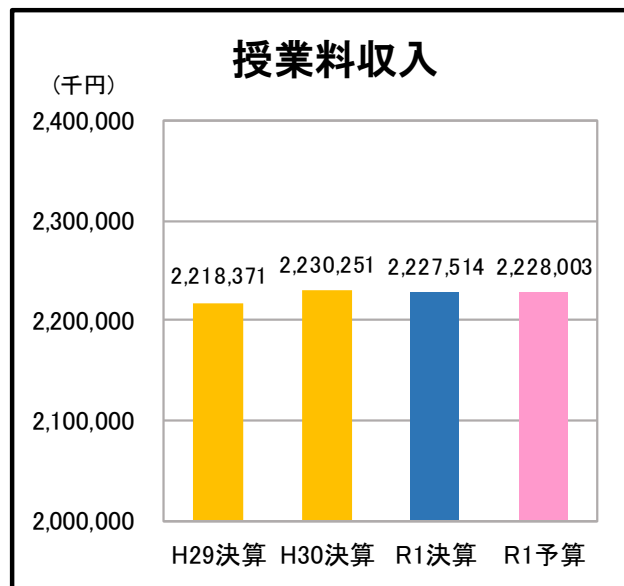
○運営費交付金収益は退職手当の執行減により91百万円の減

○受託研究等収益等は受託研究費の執行減等により194百万円の減

○研究関連収入は科学研究費補助金の獲得増により84百万円の増



学生納付金収入(大学)



(単位: 千円)

項 目	H29年度	H30年度	R1年度	(参考)R1予算	前年度増減	対予算増減	前年度比
授業料収入	2,218,371	2,230,251	2,227,514	2,228,003	△ 2,737	△ 489	99.9%
入学金収入	340,023	345,933	331,397	338,116	△ 14,536	△ 6,719	95.8%
検定料収入	95,452	91,543	83,386	95,379	△ 8,157	△ 11,993	91.1%
手数料収入	432	288	180	2,556	△ 108	△ 2,376	62.5%
合 計	2,654,279	2,668,015	2,642,477	2,664,054	△ 25,538	△ 21,577	99.0%

【ポイント】

授業料収入：減免対象者の増（学部：+11人 院生：+39人） 10,202千円減

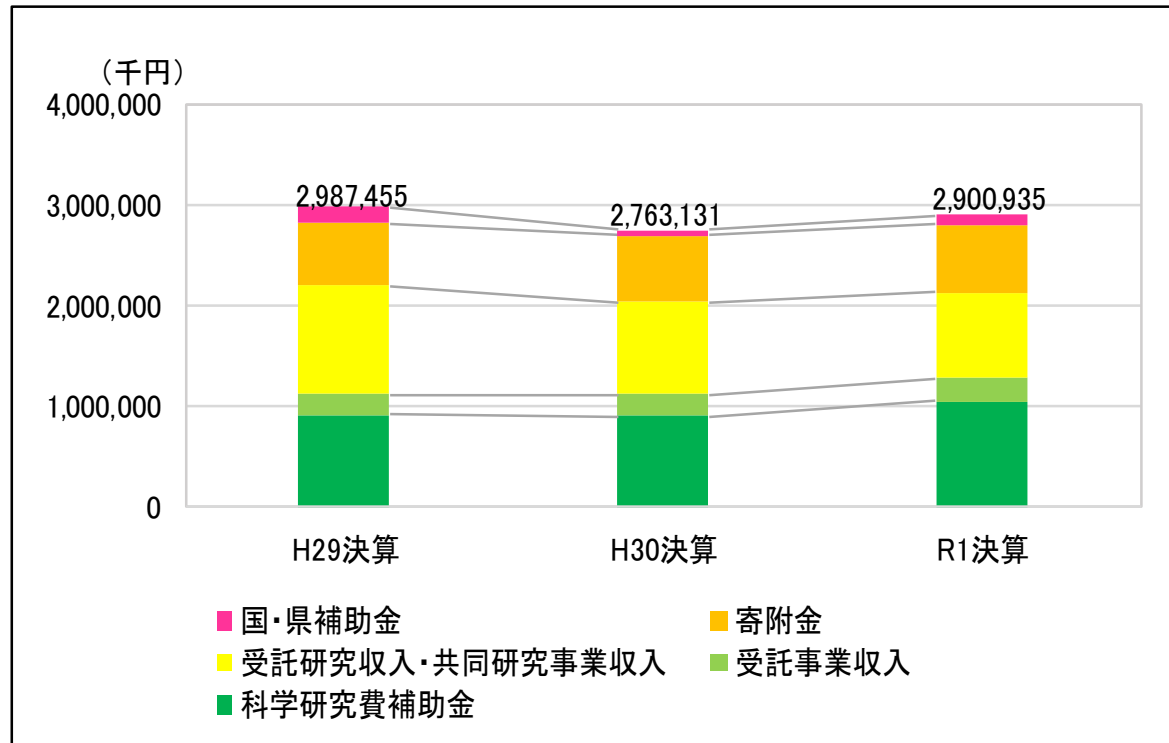
入学金収入：高等教育修学支援新制度による減免 学部：44人 11,221千円減

検定料収入：志願者数の減（経済学部（▲262人）、人文社会学部（▲160人）、芸術工学部（▲113人）等）

（予算増減での減は、医学部の2段階選抜導入による志願者数の減）



外部資金等収入(大学)



【ポイント】

○国・県補助金

- ・「進化型実務家教員養成プログラム」の増 +47,587千円
- ・特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（創薬基盤科学技術開発研究拠点）の減 △15,767千円

○寄附金

- ・寄附講座「いなべ市地域医療連携推進学」による増 +30,000千円

○受託研究収入・共同研究収入

- ・感染症実用化研究事業（医学研究科）の減
- 再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業（薬学研究科）の減 等

○科学研究費補助金

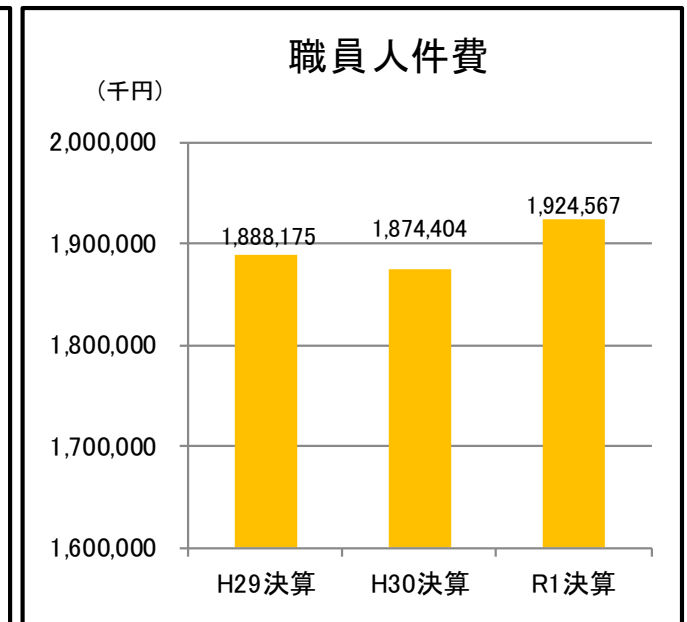
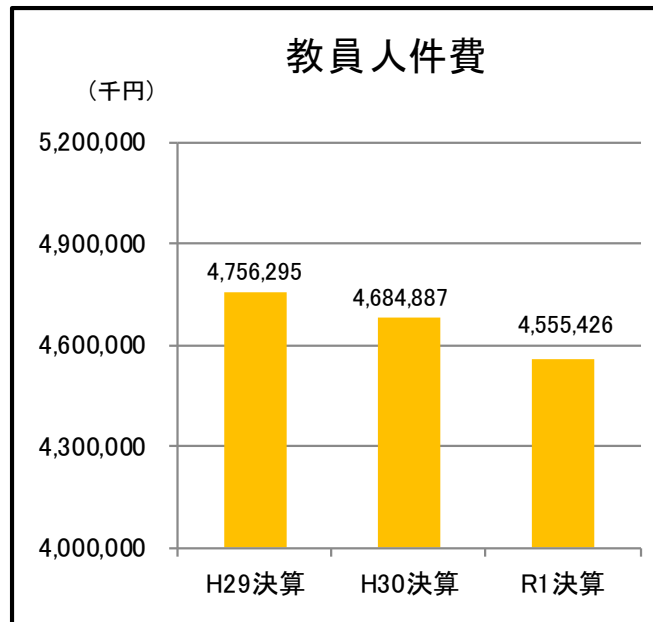
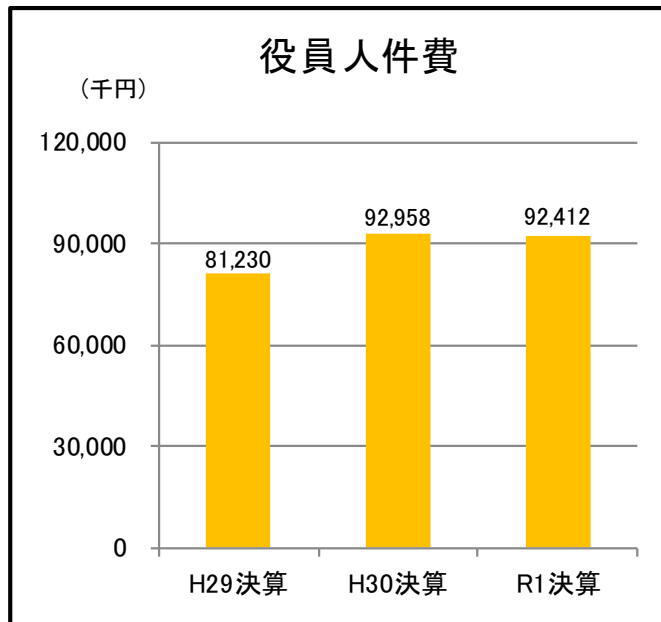
- ・基盤研究（B）、学術研究助成基金助成金（若手研究）の獲得増による

(単位: 千円)

区分	H29年度	H30年度	R1年度	前年度増減	前年度比
国・県補助金	168,504	57,045	84,182	27,137	147.6%
寄附金	611,405	662,086	683,170	21,084	103.2%
受託研究収入・共同研究事業収入	1,081,420	923,759	847,540	△ 76,219	91.7%
受託事業収入	200,683	210,255	234,438	24,183	111.5%
科学研究費補助金	925,443	909,986	1,051,605	141,619	115.6%
合計	2,987,455	2,763,131	2,900,935	137,804	105.0%



人件費(大学)



(単位: 千円)

項 目	H29年度	H30年度	R1年度	前年度増減	前年度比
役員人件費	81,230	92,958	92,412	△ 546	99.4%
教員人件費	4,756,295	4,684,887	4,555,426	△ 129,461	97.2%
職員人件費	1,888,175	1,874,404	1,924,567	50,163	102.7%
合 計	6,725,701	6,652,249	6,572,405	△ 79,844	98.8%

【ポイント】

教員人件費：退職手当の減 △149,872千円、人事委員会勧告による賞与の増 11,988千円

職員人件費：常勤職員の増（コンプライアンス推進室設置等） 44,010千円

人事委員会勧告による賞与の増 3,718千円 等



令和元年度決算（病院）

（単位：百万円）

区 分	H30年度	R1年度	増減	前年度比
経常費用	29,768	31,061	1,293	104.3%
業務費	29,571	30,836	1,265	104.3%
教育研究経費	133	122	△ 11	91.7%
診療経費	16,877	17,835	958	105.7%
受託研究費等	238	245	7	102.9%
人件費	12,323	12,633	310	102.5%
一般管理費等	196	224	28	114.3%
経常収益	29,406	30,806	1,400	104.8%
運営費交付金収益	935	753	△ 182	80.5%
附属病院収益	27,829	29,371	1,542	105.5%
受託研究等収益等	234	260	26	111.1%
寄附金・補助金等収益	115	130	15	113.0%
その他	292	291	△ 1	99.7%
経常損益	△ 361	△ 254	107	70.4%

【ポイント】 （経常費用）

○診療経費

- ・医薬品費の増などにより、材料費が781百万円の増
- ・救急・災害医療センター（仮称）の整備にかかる委託費の増などにより、委託費が136百万円の増
- ・減価償却費の増などにより、設備関係費が107百万円の増

○人件費

- ・定員増及び欠員補充による給与、賞与の増等により、310百万円の増

（経常収益）

○運営費交付金

- ・退職手当の執行額の減（△17人）や、医療機器リース料の減などにより182百万円の減

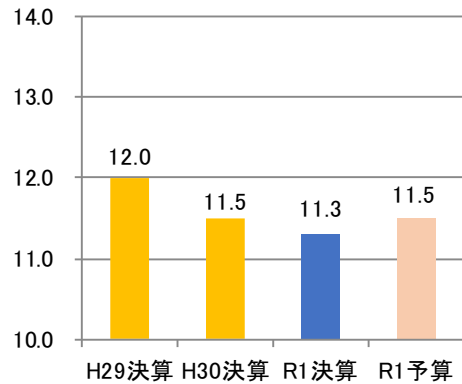
○附属病院収益

- ・手術件数の増（+471件）、外来化学療法室の利用者の増（+1,199人）、画像診断管理加算の算定、個室料金の値上げなどにより1,542百万円の増

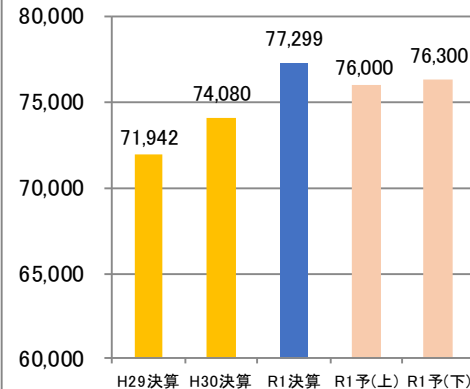


診療収益の状況

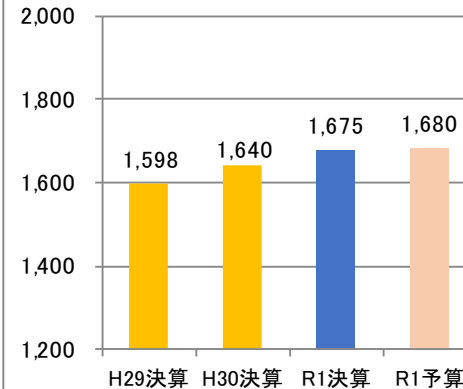
(日) 平均在院日数



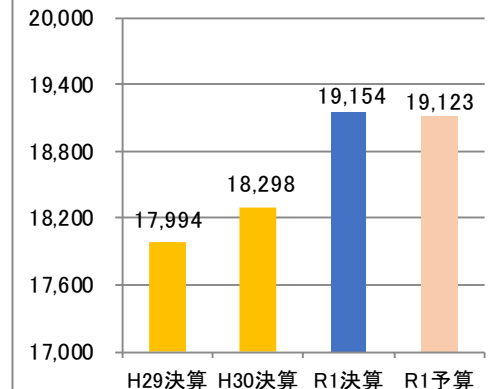
(円) 入院診療単価



(人/月) 新入院患者数

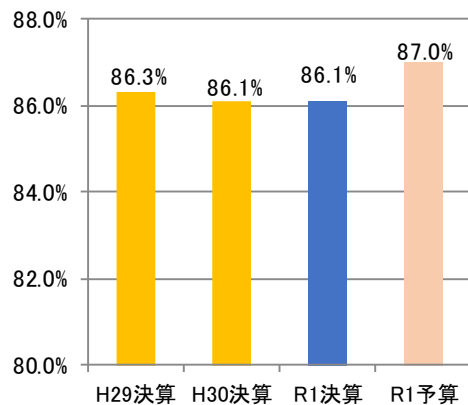


(百万円) 入院収益

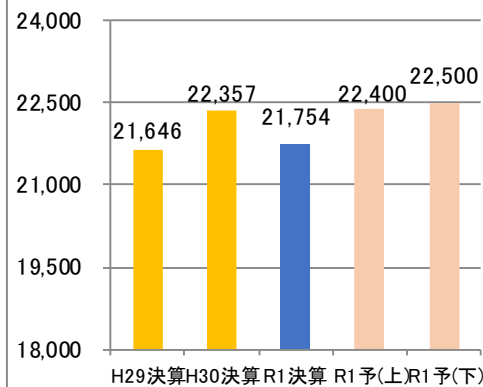


※R1 予算は入院収入

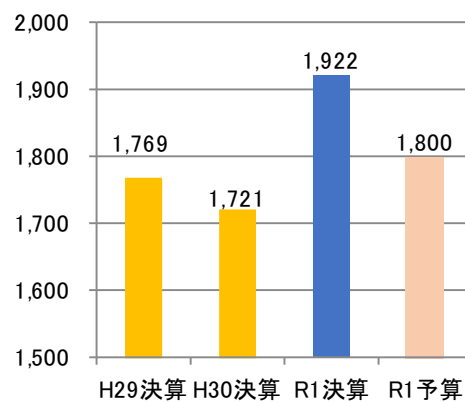
病床稼働率



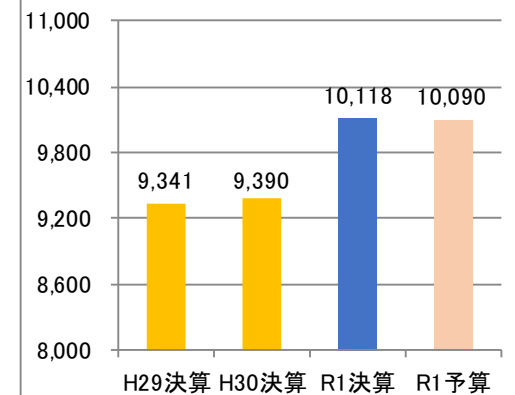
(円) 外来診療単価



(人/日) 外来患者数



(百万円) 外来収益

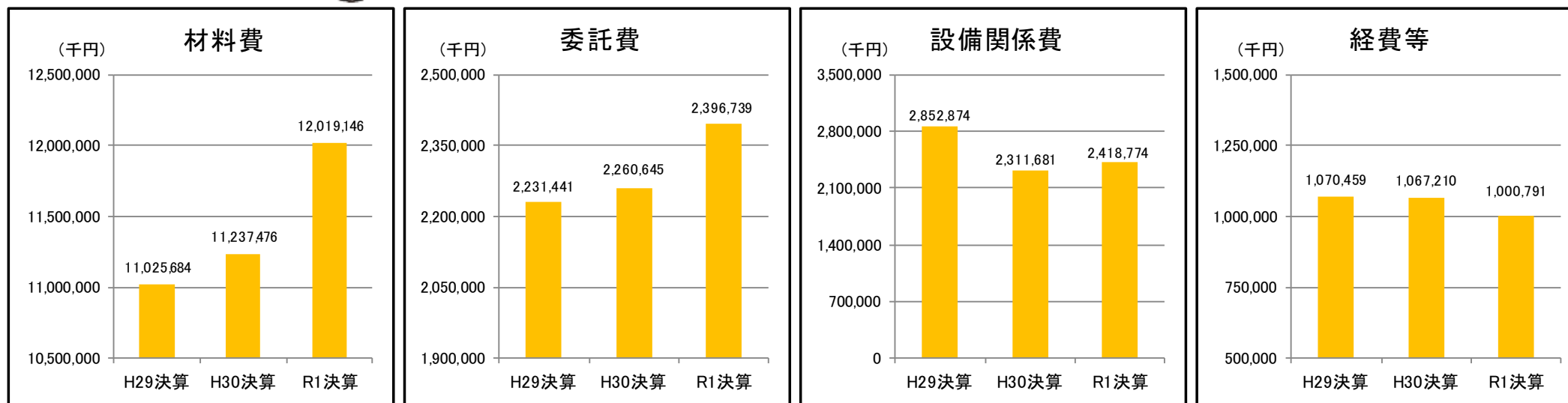


※R1 予算は外来収入

※R1年度より、同日で3診療科以上を受診する、初・再診料を算定されていない患者等についても集計するようになったため、前年度より人数が増加している



診療経費(病院)



(単位:千円)

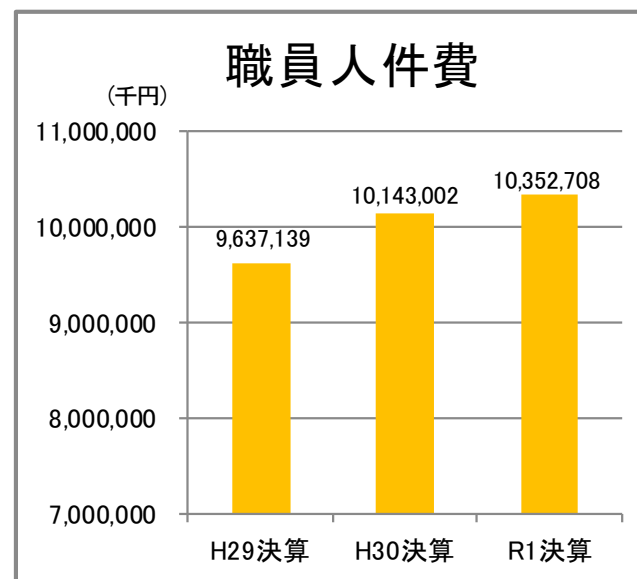
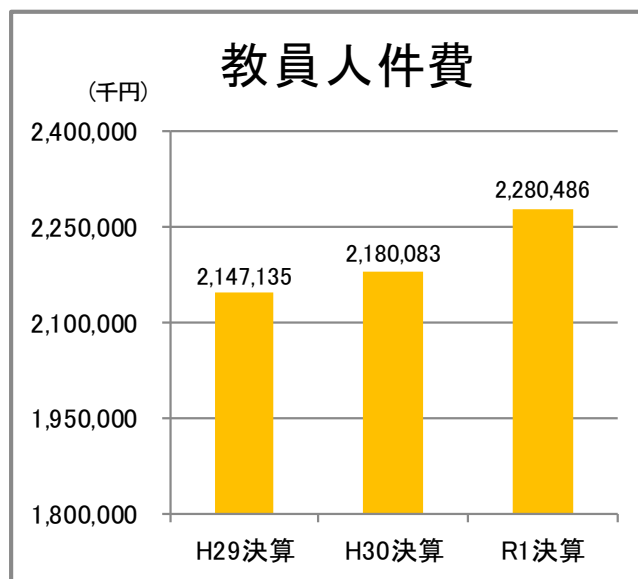
区 分	H29年度	H30年度	R1年度	前年度増減	前年度比
材料費	11,025,684	11,237,476	12,019,146	781,670	107.0%
委託費	2,231,441	2,260,645	2,396,739	136,094	106.0%
設備関係費	2,852,874	2,311,681	2,418,774	107,093	104.6%
経費等	1,070,459	1,067,210	1,000,791	△ 66,419	93.8%
診療経費計	17,180,459	16,877,013	17,835,451	958,438	105.7%

【ポイント】

材 料 費 : 医薬品費の増 +487,565千円、診療材料費の増 +323,516千円
 委 託 費 : 救急・災害医療センター（仮称）の整備にかかる委託費の増 +33,210千円
 外注検査委託費の増 +36,086千円
 設備関係費 : 減価償却費の増 +96,659千円
 経 費 等 : 光熱水費の減 △80,313千円



人件費(病院)



(単位:千円)

項 目	H29年度	H30年度	R1年度	前年度増減	前年度比
教員人件費	2, 147, 135	2, 180, 083	2, 280, 486	100, 403	104. 6%
職員人件費	9, 637, 139	10, 143, 002	10, 352, 708	209, 706	102. 1%
合 計	11, 784, 274	12, 323, 085	12, 633, 194	310, 109	102. 5%

【ポイント】

教員人件費：定員増及び欠員補充による給与の増 81, 971千円

夜間休日等診療業務手当の増 12, 849千円、賞与支給額の増 12, 654千円

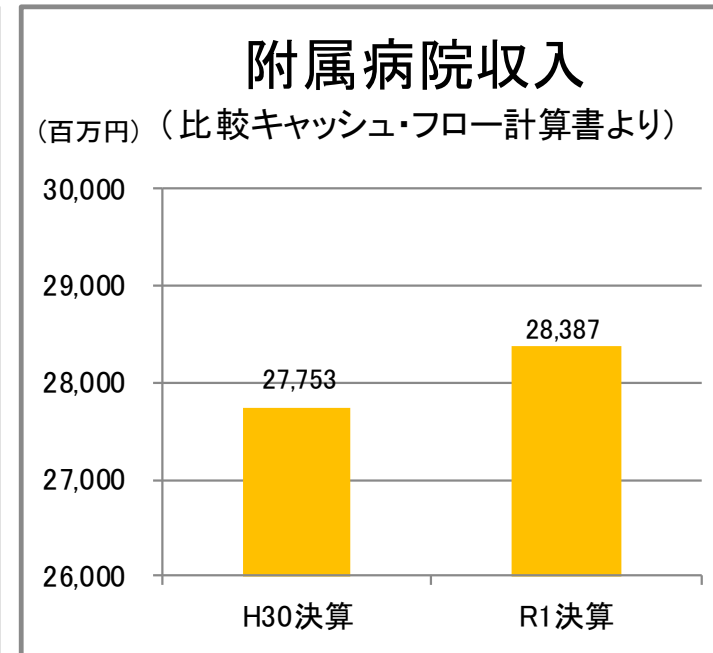
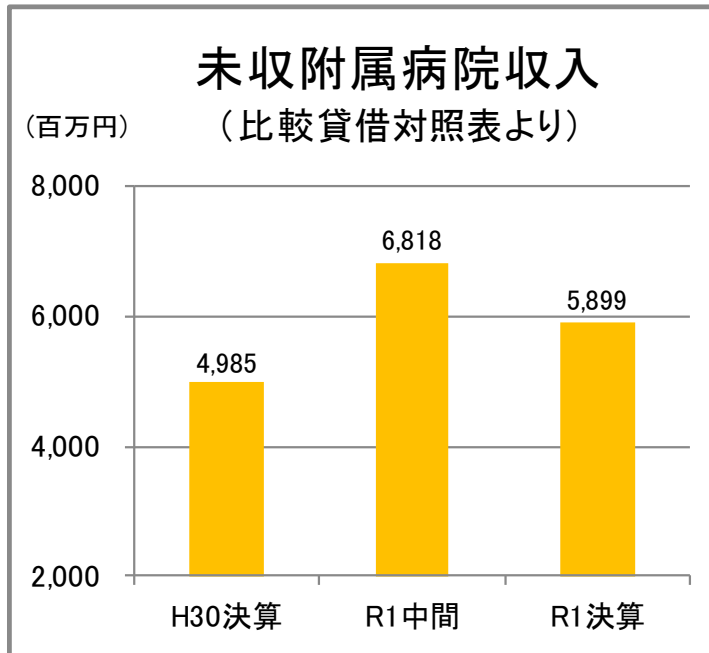
職員人件費：定員増及び欠員補充による給与の増 96, 341千円

夜間休日等診療業務手当の増 13, 929千円、超過勤務手当の増 20, 913千円

賞与支給額の増 53, 424千円、追加費用の増 26, 915千円



附属病院収入の未収額について(病院)



(単位: 百万円)

項 目	H30決算	R1中間	R1決算	前年度増減
未収附属病院収入 (比較貸借対照表より)	4, 985	6, 818	5, 899	914
附属病院収入 (比較キャッシュ・フロー 計算書より)	27, 753	(12, 563)	28, 387	634

【ポイント】

年度末のレセプト保留額は756百万円であり、中間決算時には約1,244百万円だったが、レセプト支援部隊を増員して対応したため約500百万円削減。

未収附属病院収入914百万円の増の内訳は、約52% (475百万円) が保険者請求額で、約34% (312百万円) がレセプト保留額。



比較貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	H31.3.31 A	R2.3.31 B	増減 B-A	区 分	H31.3.31 A	R2.3.31 B	増減 B-A
資産				負債			
固定資産	56,851	55,816	△ 1,035	固定負債	13,341	14,064	723
有形固定資産	55,978	55,134	△ 844	資産見返負債	7,458	7,787	329
土地	21,069	21,069	0	長期寄附金債務	965	862	△ 103
建物	21,035	20,118	△ 917	長期借入金	3,004	3,984	980
構築物	318	323	5	退職給付引当金	259	305	46
工具器具備品	7,568	7,450	△ 118	長期リース債務	1,613	1,083	△ 530
図書	5,956	5,960	4	長期資産除去債務	40	40	0
建設仮勘定	8	189	181	流動負債	12,118	10,381	△ 1,737
その他	21	21	0	運営費交付金債務	160	424	264
無形固定資産	278	245	△ 33	寄附金債務	2,195	2,321	126
特許権	23	18	△ 5	前受受託研究費等	262	285	23
ソフトウェア	214	170	△ 44	前受金	166	66	△ 100
その他	40	56	16	預り科学研究費補助金等	280	335	55
投資その他資産	594	436	△ 158	預り補助金等	0	11	11
投資有価証券	570	418	△ 152	一年以内返済予定長期借入金	150	557	407
破産再生更生債権等	48	62	14	未払金	7,587	5,188	△ 2,399
徴収不能引当金	△ 48	△ 62	△ 14	未払消費税等	23	22	△ 1
その他	23	18	△ 5	預り金	284	274	△ 10
流動資産	16,749	15,021	△ 1,728	賞与引当金	150	180	30
現金及び預金	7,478	7,764	286	リース債務	856	713	△ 143
未収学生納付金収入	1	0	△ 1	負債合計	25,459	24,446	△ 1,013
未収附属病院収入	4,985	5,899	914	純資産			
徴収不能引当金	△ 67	△ 88	△ 21	資本金	66,698	66,698	0
有価証券	1,110	0	△ 1,110	資本剰余金	△ 19,904	△ 21,296	△ 1,392
棚卸資産・医薬材料	455	616	161	利益剰余金	1,440	1,235	△ 205
未収入金	2,709	730	△ 1,979	その他有価証券評価差額金	△ 92	△ 245	△ 153
その他	76	97	21	純資産合計	48,141	46,391	△ 1,750
資産合計	73,600	70,837	△ 2,763	負債・純資産合計	73,600	70,837	△ 2,763

【ポイント】

(資産)

- 建設仮勘定
自動火災報知設備の更新や中央監視装置の更新等翌年度に継続する工事の増

- 投資有価証券
投資信託の現物寄附の評価損による減

- 未収入金
30年度の施設整備費等補助金（病院情報システム更新）が令和元年度に入金

(負債)

- 長期借入金
医療機器更新に係る借入金等の増

- 長期リース債務
新規リースの減

- 未払金
30年度の施設整備費等補助金（病院情報システム更新）を令和元年度に支払

(純資産)

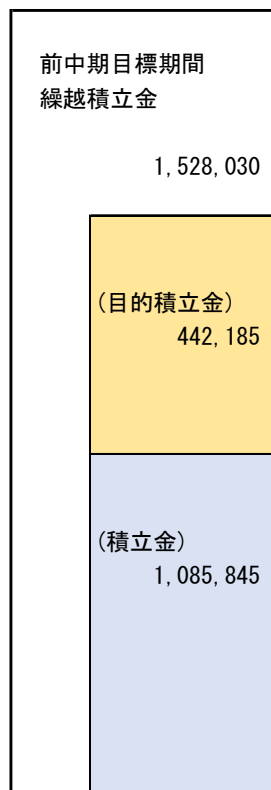
- 資本剰余金
当期減価償却による減



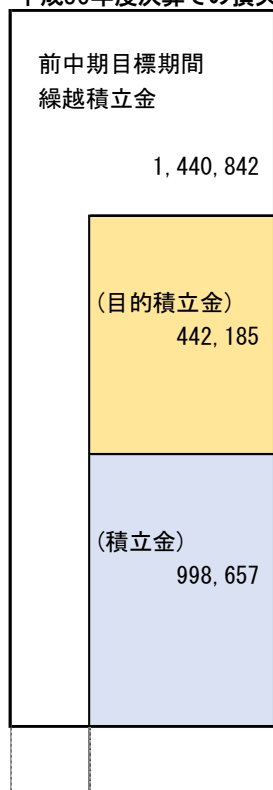
利益(損失)の処理・目的積立金

(単位: 千円)

【令和元年度 期首】



【令和元年度 期中】
平成30年度決算での損失処理



平成30年度未処理損失

△ 87, 188

※平成30年度の損失として、積立金を取崩し充当

【令和元年度 目的積立金執行実績】

中期計画の用途に充当

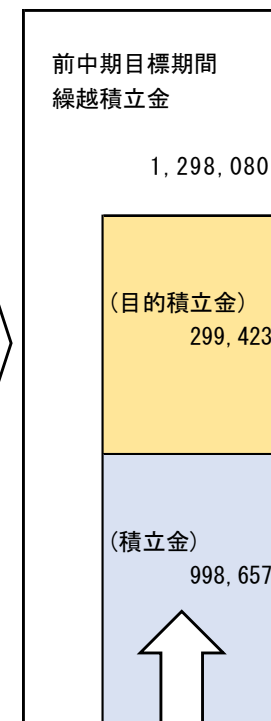
- ①教育、研究、診療の質の向上
- ②組織運営の改善

区 分	事項概要	執行額
教 育	パソコン教室用機器等の更新	37, 908
	滝子キャンパスのトイレ改修	104, 854
合 計		142, 762

(会計処理上の内訳)

費用執行分	修繕費	8, 689
資産取得分	資本剰余金	134, 073
小 計		142, 762

【令和元年度 期末】



当期純損失を積立金で補填

当期総損失

△ 62, 430

令和2年度に以下の項目に活用
○開学70周年記念事業 100, 000千円

令和2年度末残額見込 199, 423千円



比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	H30年度 A	R1年度 B	差引	B/A
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,678	1,557	△ 121	92.8%
原材料、サービスの購入等による支出	△ 18,761	△ 18,939	△ 178	-
人件費支出	△ 19,211	△ 19,772	△ 561	-
その他の業務支出	△ 648	△ 748	△ 100	-
運営費交付金収入	7,237	7,110	△ 127	98.2%
学生納付金収入	2,649	2,639	△ 10	99.6%
附属病院収入	27,753	28,387	634	102.3%
受託研究等収入	1,472	1,327	△ 145	90.1%
寄附金・補助金等収入	825	869	44	105.3%
その他業務収入	620	632	12	101.9%
預り金科学研究費補助金等の増加	50	57	7	114.0%
預り金等の増加	3	△ 6	△ 9	-
設立団体納付金の支払額	△ 313	0	313	-
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,552	968	2,520	-
定期預金の預入による支出	△ 19,300	△ 3,009	16,291	-
定期預金の払戻による収入	15,600	5,700	△ 9,900	36.5%
有価証券の取得による支出	△ 1,110	0	1,110	-
有価証券の償還による収入	4,260	1,110	△ 3,150	26.1%
有形固定資産の取得による支出	△ 844	△ 5,138	△ 4,294	608.8%
有形固定資産の売却による収入	0	0	0	-
無形固定資産の取得による支出	△ 217	△ 22	195	-
投資その他の資産の取得による支出	△ 9	△ 9	0	-
投資その他の資産の返還による収入	9	7	△ 2	77.8%
施設費による収入	58	2,329	2,271	4015.5%
利子及び配当金の受取額	1	1	0	100.0%
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	292	451	159	-
リース債務の返済による支出	△ 1,117	△ 930	187	-
長期借入金の返済による支出	△ 83	△ 150	△ 67	-
長期借入れによる収入	1,500	1,538	38	102.5%
利息の支払額	△ 6	△ 5	1	-
IV 資金増減額	418	2,977	2,559	-
V 資金期首残高	2,059	2,478	419	120.3%
VI 資金期末残高	2,478	5,455	2,977	220.1%

【ポイント】

○令和元年度決算時点の資金残高は
5,455百万円（前年度決算より
2,977百万円の増）

○附属病院収入 634百万円増

○業務活動によるCFは1,557百万円
（前年度決算より121百万円の減）
→財務活動の「リース債務の返済
による支出」△930百万円まで業務
活動CFの増で賄うことができている。

○投資活動によるCFは968百万円
（前年度決算より2,520百万円の増）
→定期預金や有価証券（譲渡性預
金）の払戻により対応

○有形固定資産の取得による支出
4,294百万円増
→③⑩病院情報システム2,200百万円
③⑩医療機器の更新1,200百万円
①医療機器の更新759百万円

○施設費による収入 2,271百万円増
→30年度の施設整備費等補助金
（病院情報システム）の入金

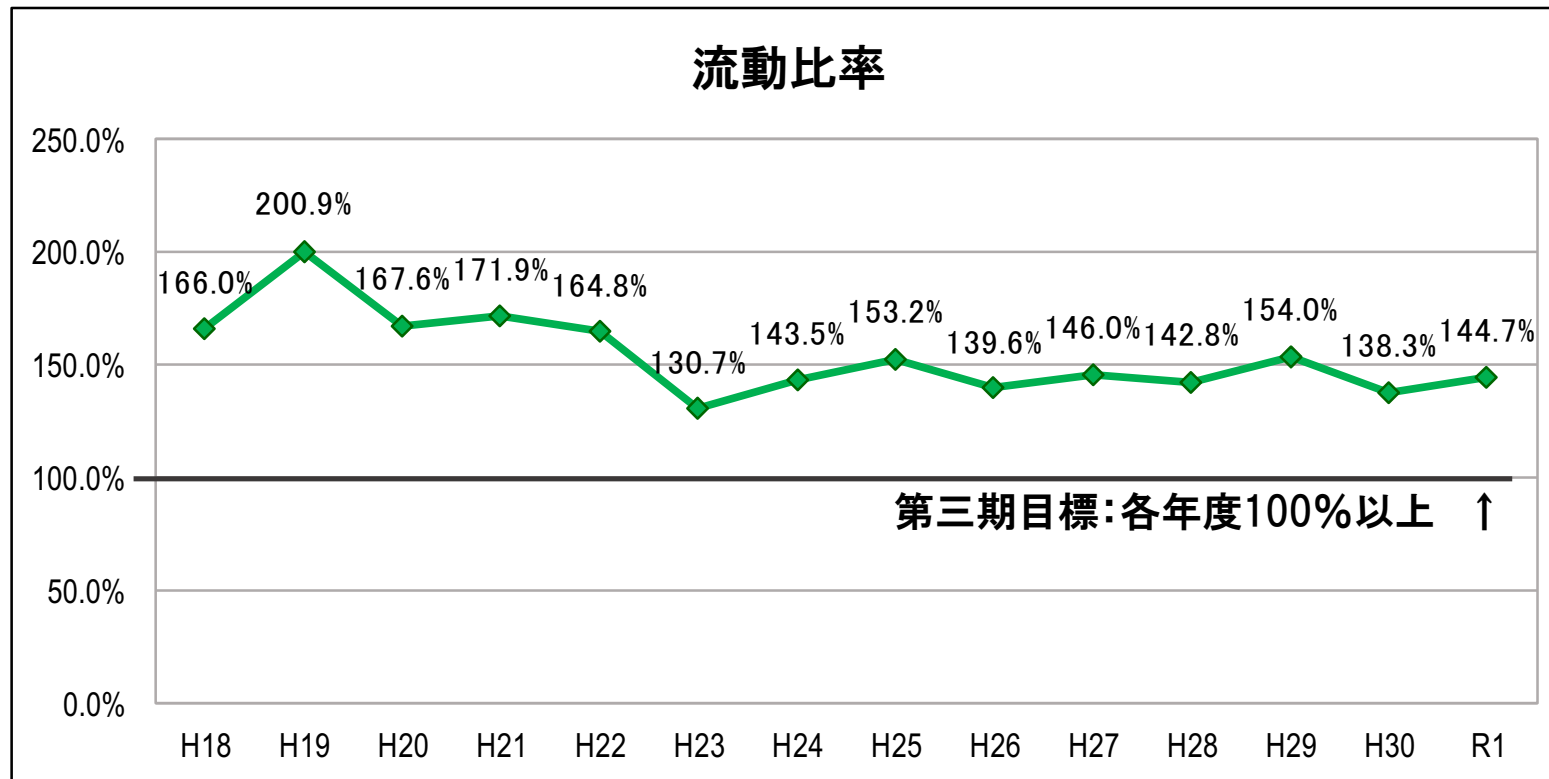


第三期中期計画における数値目標

区分	数値目標	目標	(参考) 第二期		第三期			
			29予算	29決算	H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
法人	流動比率 (流動資産÷流動負債)	各年度	—	154.0%	—	138.2%	—	144.7%
		100%以上						
	当期総損益	各年度	△222百万円	437百万円	△279百万円	△87百万円	△427百万円	△62百万円
		プラス						
	一般管理費比率 (一般管理費÷業務費)	各年度	1.4%	1.8%	1.4%	1.7%	1.7%	1.9%
		1.7%以下						
大学	自主財源額 ※運営費交付金以外の財源	対前年度	5,081百万円	5,118百万円	5,245百万円	4,960百万円	5,409百万円	5,001百万円
		プラス						
病院	医薬材料費比率 (医薬材料費(税抜)÷診療収入)	30～35年度の 6年間平均で 37.0%以下	36.5%	37.3%	37.0%	37.5%	37.0%	37.6%



財務指標の推移(①流動比率)



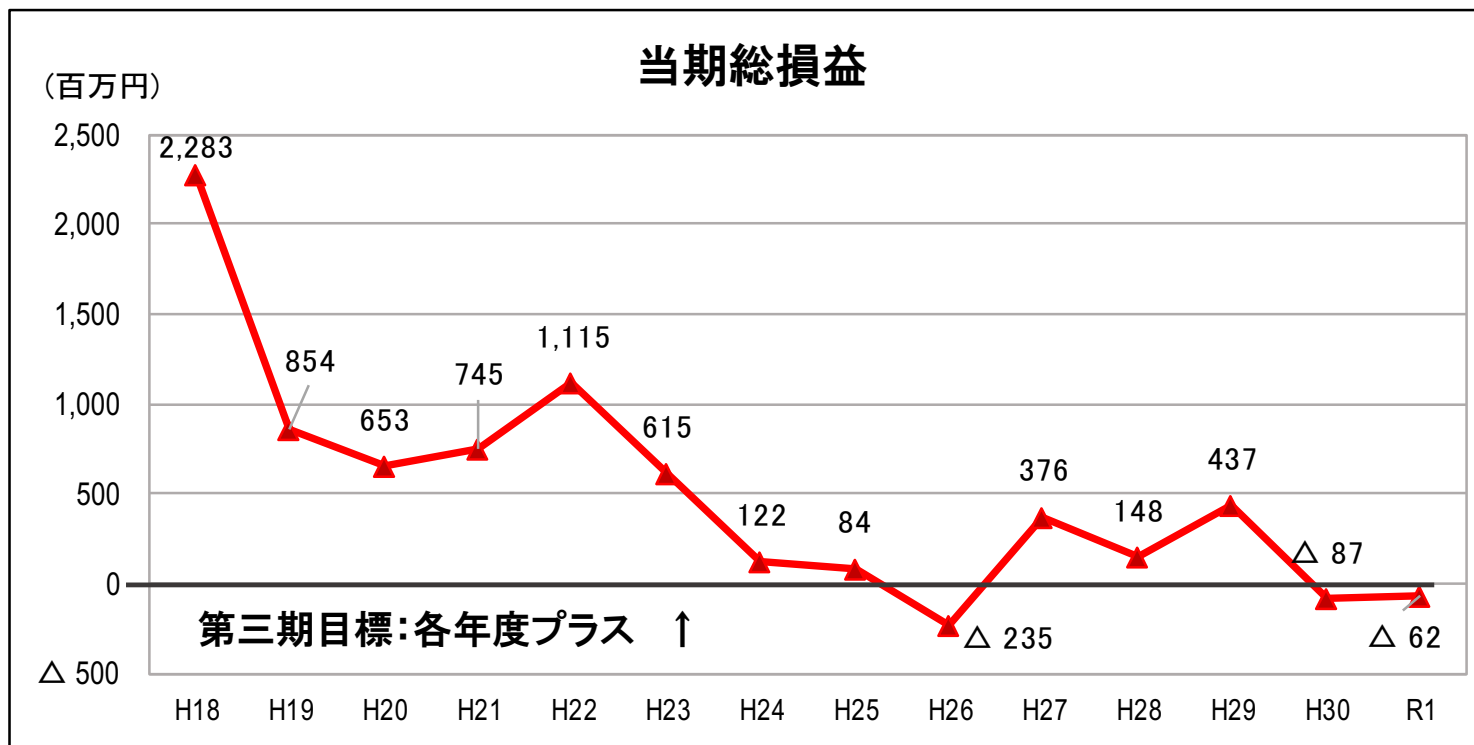
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

【ポイント】

30年度の施設整備費等補助金（病院情報システム更新）の未払額及びその財源の現金・未収金が解消されたため昨年度より改善した。



財務指標の推移(②当期総損益)

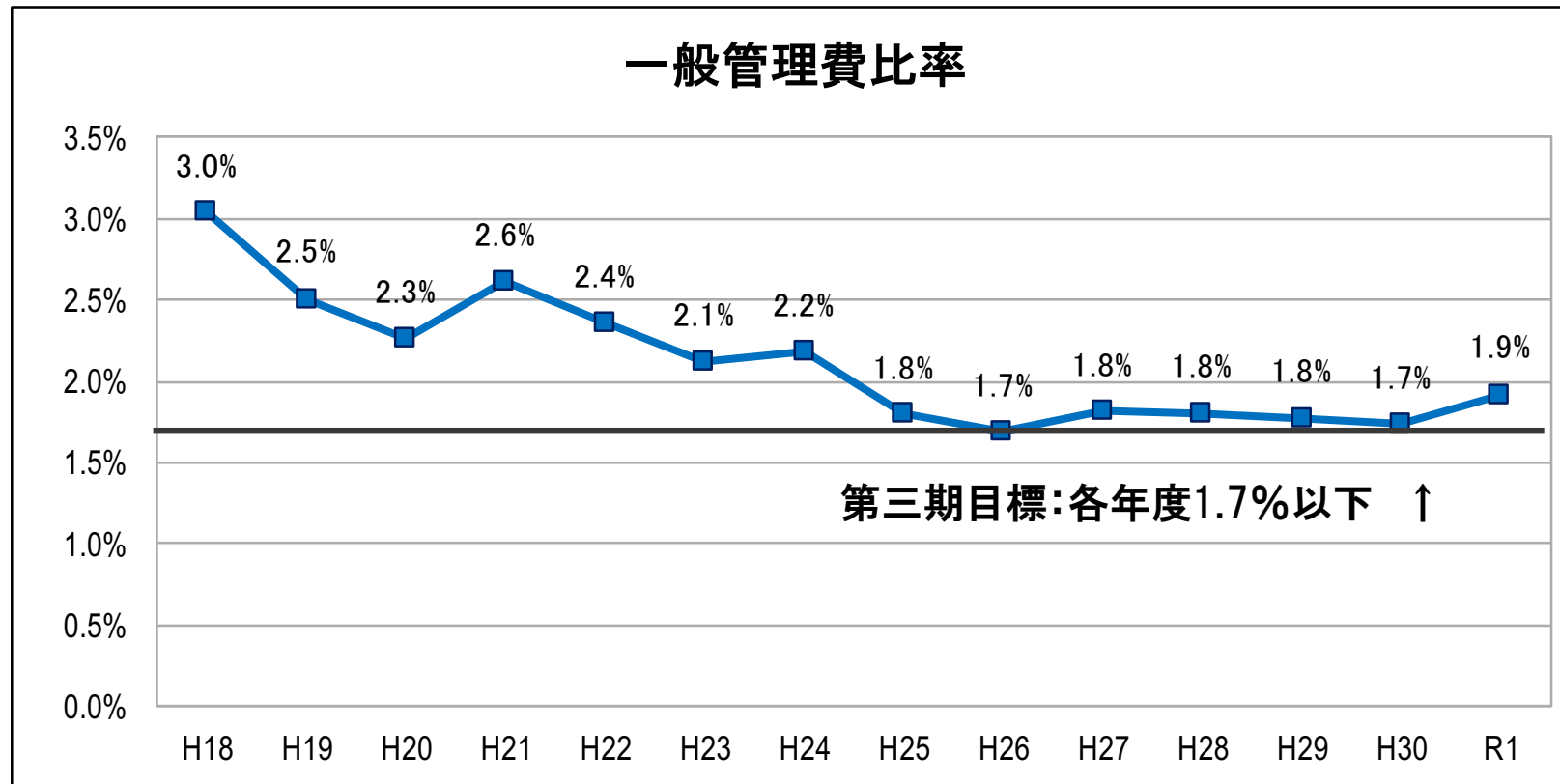


【ポイント】

中期計画での令和元年度損益は△444百万円であったところ、収入確保や経費節減に努めた結果、令和元年度損益が△62百万円と大きく改善した。



財務指標の推移(③一般管理費比率)



一般管理費比率 = 一般管理費 ÷ 業務費

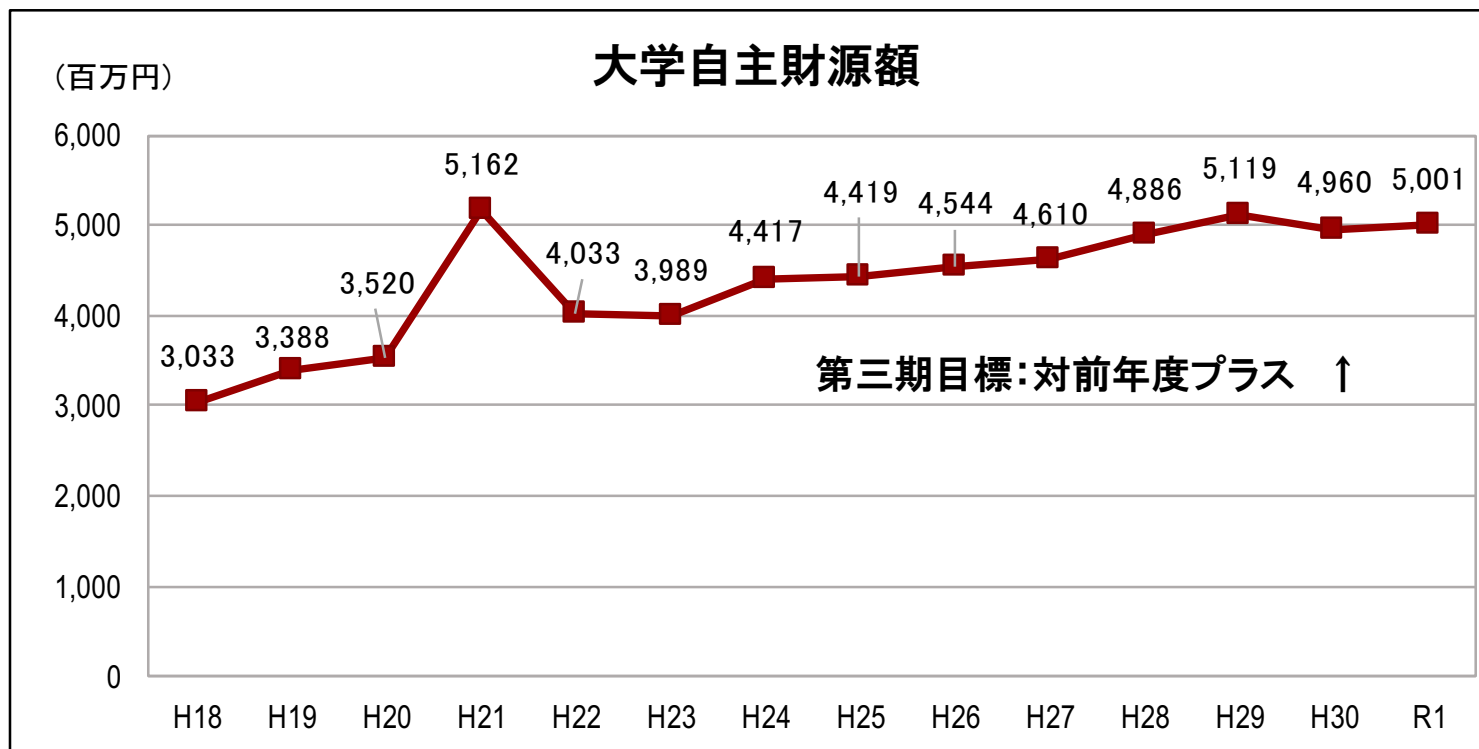
【ポイント】

一般管理費比率は1.97%であり、目標1.7%以下に届かなかった。倒壊の恐れがあった滝子キャンパスの既存の塀の撤去費用や、納付消費税の増等により一般管理費が増加した。

(一般管理費 ③695百万円→①813百万円)



財務指標の推移(④大学自主財源額)



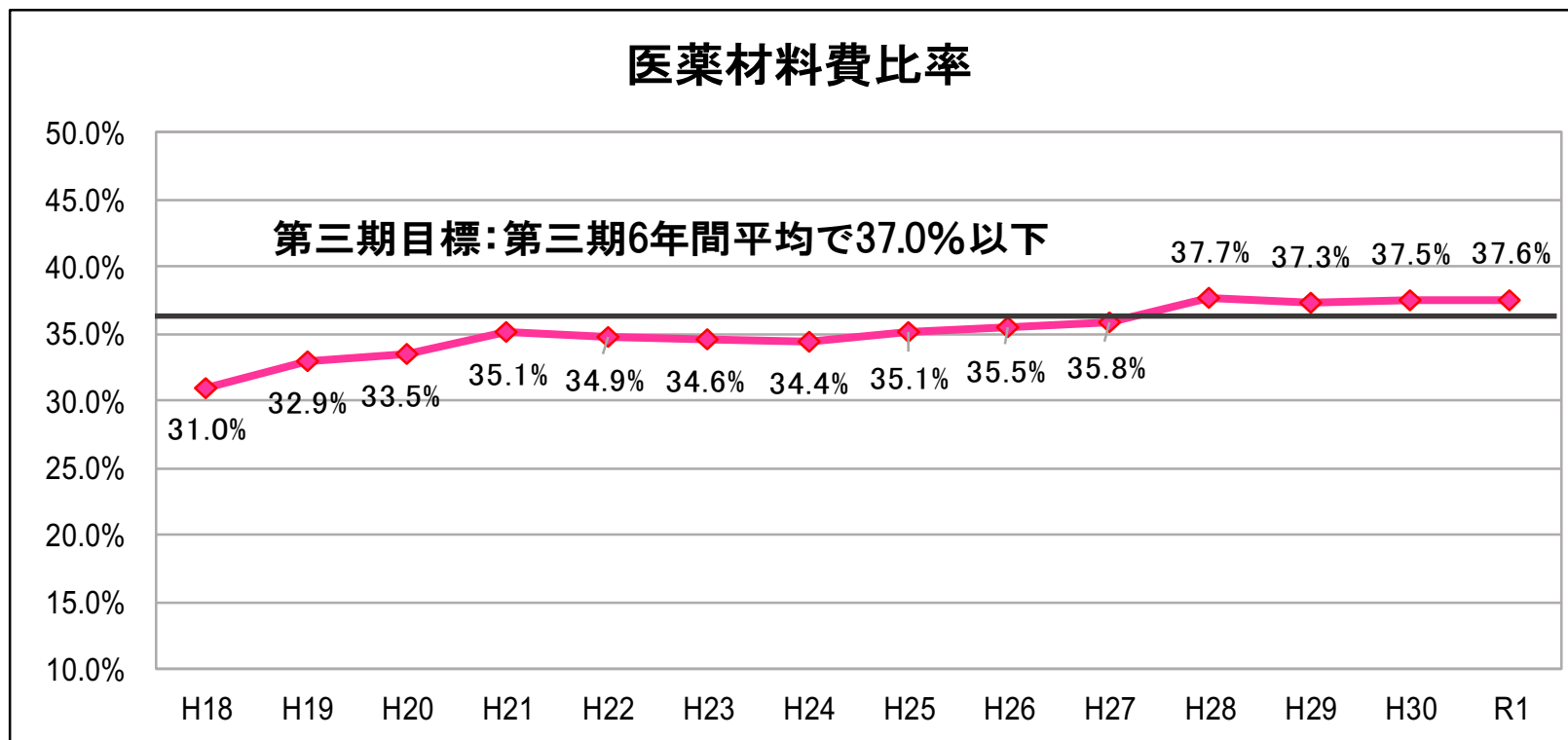
自主財源額＝学生納付金収入＋雑収入＋受託研究収入等

【ポイント】

受託研究収入が減少したものの、国庫補助金（進化型実務家教員養成プログラム）の増等により、対前年度プラスを達成することができた。



財務指標の推移(⑤医薬材料費比率)



医薬材料費(税抜)÷診療収入

【ポイント】

バイオシミラー(バイオ医薬品(タンパク質を有効成分とする医薬品)の後発品)への切り替え、フォーミュラリ(最も経済的で効果的な医薬品の院内における推奨リスト)の活用を院内に浸透させたほか、副病院長など医師の協力を得ながら診療材料の価格交渉を行い、契約金額の削減に努めたものの、外来化学療法室などで使用する高額医薬品や手術件数の増に伴う手術材料の使用増などが影響し、前年度より0.1%の増加となった。